

第七葛西小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

第七葛西小学校長 山崎 美佐子
コーディネーター 小田原 備一

2 ボランティア登録数（令和4年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	80人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ、パネルシアター	年間3回(読書月間) 年間2回	18
図書環境整備	週1回(火曜日)	13
図書見守り	不定期	9
学習活動支援	不定期(火起こし・凧作り等)	20
七小田んぼ愛育会	不定期(米作り・脱穀等)	15



5年 脱穀体験学習(七小田んぼ愛育会)



図書室環境整備(図書ボランティア)

4 今年度の成果と課題

<成 果>

- ・コロナ禍の状況ではあったが、保護者や地域の方々に構成されている「七小田んぼ愛育会」の支援により、5年生の総合的な学習の時間に取り組んでいる稲作活動を充実させることができた。15名の会員で、主に5年生の学習支援を行っている。日常生活では体験できない米作りを、春から秋にかけて体験することができたことは、児童にとって大変有意義であった。特に今年度は、秋に学習発表会があり、愛育会の方々と共に活動した田起こしや田植え、稲刈りの体験を発表会の内容に活かすことができた。
- ・図書ボランティアの方々には「読み聞かせ」・「環境整備」・「見守り」という三本柱の活動を大きな一つの組織の中に位置づけ、読書科の推進のために互いに連携して、充実した活動をしていただいている。パネルシアターの活動について例年は全校児童対象にして行っているが、本年度は昨年度同様、コロナウィルスの感染状況を鑑みながらできることを限定しながら行った。本校の特色ある活動として定着しているパネルシアターの活動であるので、コロナ禍の状況が落ち着いたら全校児童に向けての開催を再開したい。

<課 題>

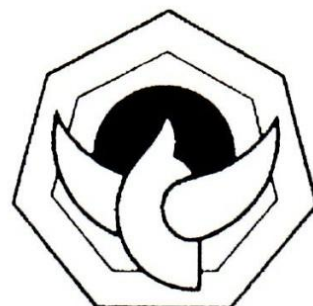
- ・学校や地域の歴史等に精通している方が年々高齢となり、ご協力いただくことが難しくなっている。地域人材の発掘や活用計画を進めること。
- ・PTAのOB・OG、卒業生等幅広い年齢層を確保していくこと。

5 コーディネーターより

日頃よりPTA・教職員・学校応援団ボランティア・おやじの会・地域の皆様方のご支援により、充実した教育活動が実践されている第七葛西小学校です。

コロナ禍の状況にやや落ち着きが見られてはきたものの、今年度も様々な活動が中止、縮小されました。その中においても、米作りや図書活動において学校応援団の活動を進められたことをうれしく思います。

今後も学校応援団ボランティア・地域の皆様と連携して、子どもたちの教育活動の一助になればと思っております。子どもが立派に成長していく姿を楽しみに、学校づくりに携わっていきたく思います。



6 学校長より

学びがい、働きがい、通わせがいのある学校にするために、何よりも心強い味方が学校応援団の皆様方です。感染症対策をしながらの活動にはなりますが、子どもたちのためにご支援・ご協力をお願いいたします。

今後も、学校教育のさらなる充実のために、『協力・共働・共育』のもと連携を深めて参りたいと思います。